

委員会は、「原発依存社会」に向かつて暴走する政権や電力会社に抗する市民の運動を拡大するために、「今、何をなすべきか、どのような体制を整え、どのような行動を提起・実行すべきか」を話し合う標記の「2・15相談会」

積もった雪が残る中 小浜へアメーバデモ

2月5日は、久々の好天に恵まれ、7名が小浜へアメーバデモ(チラシ各戸配布)に

向かいました。途中、トイレ休憩で立ち寄った若狭上中の「熊川宿 道の

を企画しました。皆様には、ご関心をお持ち、いただき、ご参加、ご支援、ご助力いただきたく、ご案内申し上げます。よろしくお願

〈仮チラシ〉

2026 **6.7(日)**

～原発依存を加速する政権ゆるすな～

原発のない明日を! 全国集会在おおせか

「原発依存社会」を
延命させるための
3つの原発政策

原発新增設

使用済み核燃料の
乾式貯蔵

老朽原発稼働
の拡大

◆6月7日(日)午後
大阪市内で集会とデモ
ご予約ください。

老朽原発うごかすな! 情報サイト

自然エネルギーへ
転換しよう!

主催: 老朽原発うごかすな! 6・7全国集会仮チラシ




積雪の熊川宿

駅」の屋根には50センチほどの雪が積もっており、屋根から落ちた雪をシュベルカーが集めていました。小浜駅周辺を7区分して、チラシ各戸配布しました。私は、いつもの小浜市役所の南側を担当しました。何度も何度も配布している地域なので、配布するコースも、各家のポストの位置まで頭に入っています。「この家には吠える犬がいる。」までわかっています。案の定吠えられました。(笑)

この日は3月並みの暖かさで、配布しながら歩くと暑くて、思わずジャンパーを脱いで腰に巻きました。暖かな気候に、外に出ている住民の方も多く、チラシを手渡すことができずして、高年齢の女性ばかりでしたが、「原発に反対するチラシを配っています。お読みいただけますか?」と両手でチラシを差し出すと、クスツと笑って「ほんなら読もうかな」と満面の笑顔で受け取ってくださる方がありました。(私の言い方が可笑しかったのかな?)と思いましたが、うれしい笑顔でした。ほかの方も、「まあ、ご苦労さん」「ありがとう」などと声をかけてくださいました。小浜は原発を拒否した町らしく、原発反対の声をたくさん聴きます。チラシを拒否されたことはほとんどありません。

最近では原発立地の高浜町やおおい町、美浜町でも「原発は怖い」、「能登半島地震の時はこっちも揺れた。原発はあかん」、「老朽原発は早くやめて



雪に倒されながら咲く越前水仙

ほしい」など、私たちに話してください。15年近く続けてきた若狭や周辺でのアメーバデモで分かったのは、原発立地周辺は、「原発反対」が多数であるということ。2月8日は、突然の衆議院解散による、衆議院議員選挙の投票日です。原発回帰、原発依存政策の鼻を折るような結果となってほしいものです。(京都市 橋田秀美)